

平成 19 年 5 月 31 日
気 象 庁 予 報 部

新しいスモッグ気象情報の評価結果について

気象庁では、南関東 4 都県（埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県）及び環境省の観測データを初期値として、5km 格子四方のメソ数値予報モデルを用いることにより、光化学スモッグの発生しやすい気象状況を詳細に予測する技術開発を行いました。

平成 18 年 8 月の事例について、この技術開発を利用した新しいスモッグ気象情報を発表した場合について、以下のとおり評価を行いました。

この結果、現在の情報に比べて、全般的に適中率が向上し、空振り率が減少するとの評価結果が得られました。

【評価内容】

- ・ 平成 18 年 8 月の事例について、現在の統計的な予測手法と新しい予測手法「メソ数値予報モデル用移流拡散モデル」の予測結果を比較した。
- ・ 都県を 2～3 に細かく細分した区域を対象に、適中・空振り・見逃しの割合を 13 時から 18 時まで時刻毎に集計した。

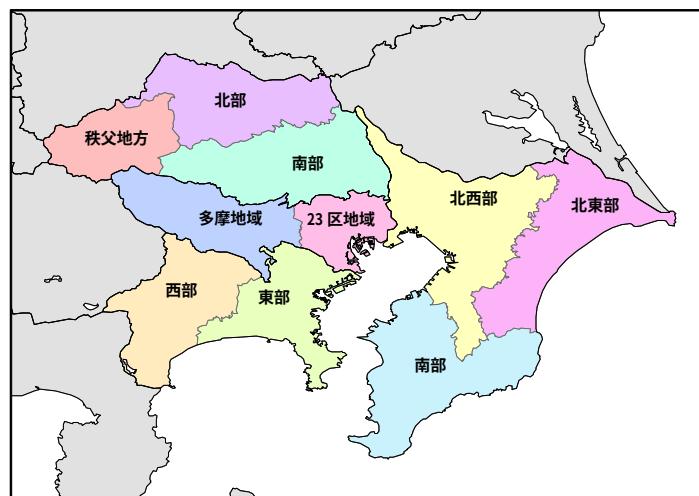
【評価結果】

- ・ 全般的に、適中率が向上し、空振り率が減少する改善が確認された。

適中率：光化学スモッグの発生しやすい気象状況を予想し、結果も光化学オキシダント濃度 (Ox 濃度) が基準 (120ppb) 以上になった割合

空振り率：光化学スモッグの発生しやすい気象状況を予想したが、結果 Ox 濃度が基準に達しなかった割合

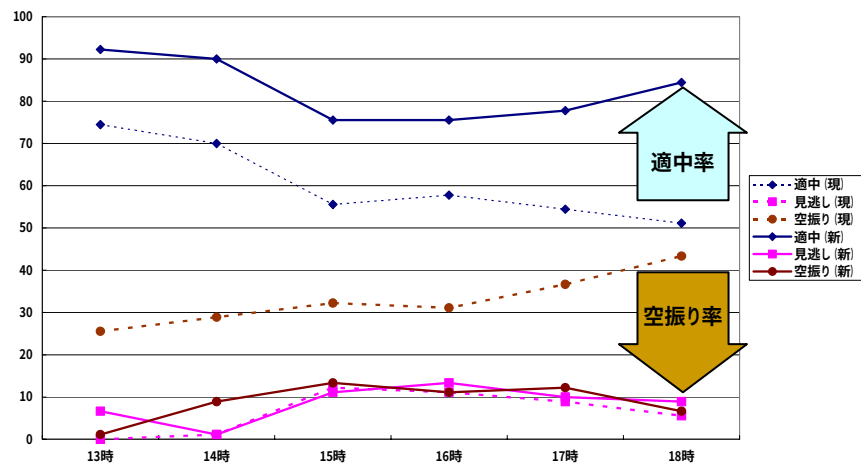
見逃し率：光化学スモッグの発生しやすい気象状況を予想しなかったが、結果 Ox 濃度が基準を超えた割合



新しいスモッグ気象情報の発表対象地域

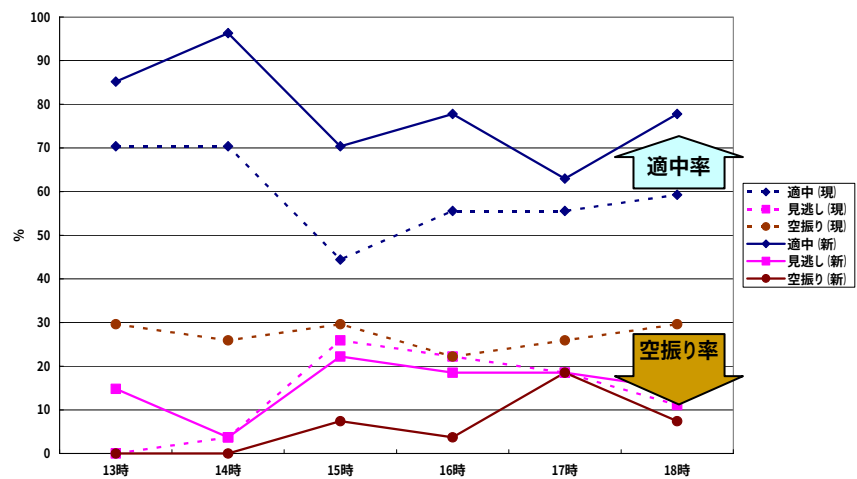
①南関東（４都県）平均での評価結果

移流拡散モデルを活用した
南関東のсмоッグ気象情報の精度（2006年8月 細分地域の時間別）



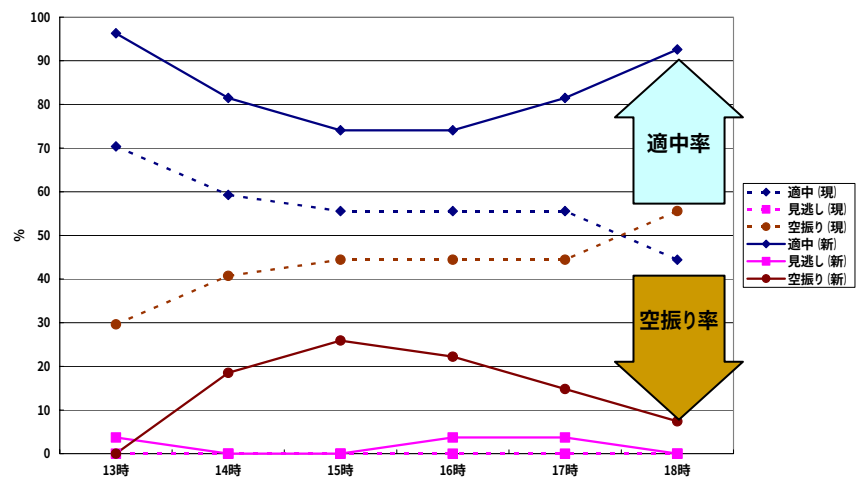
②埼玉県での評価結果

移流拡散モデルを活用した埼玉県のсмоッグ気象情報の精度（2006年8月 細分地域の時間別）

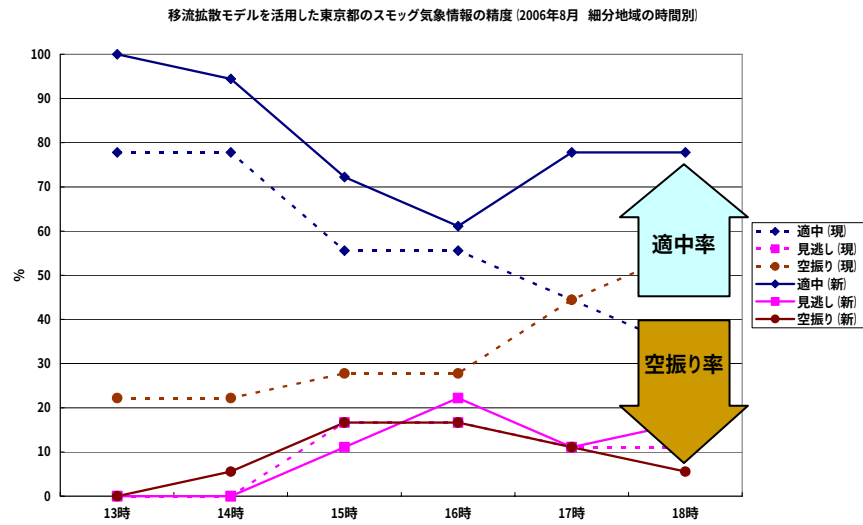


③千葉県での評価結果

移流拡散モデルを活用した千葉県のсмоッグ気象情報の精度（2006年8月 細分地域の時間別）



④ 東京都での評価結果



⑤ 神奈川県での評価結果

